

東日本大震災支援情報

報道関係各位

2012年2月2日

災害支援団体「CIVIC FORCE」 企業間連携による社員ボランティア派遣プログラム 2月から第2期開始

グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワークと連携し、 企業の本業を生かした産業復興支援を展開

国内大規模災害支援活動を専門に行う民間の連携機関「公益社団法人 Civic Force (シビックフォース)」(東京都新宿区、代表理事：大西 健丞)は、東日本大震災被災地の復旧・復興を目指して、2011年7月から複数企業による社員ボランティア派遣プログラムを実施してきましたが、このたび2012年2月から同事業の第2期を開始します。

社員ボランティア派遣プログラムは、Civic Forceが2011年4月よりカーフェリー支援事業などを続けてきた宮城県気仙沼市の有人離島「大島」において、7月から始まり、当初は、富士ゼロックス株式会社(東京都港区、社長：山本 忠人)と連携し、同社社員の新入社員を中心にがれき撤去などのボランティア活動を展開しました。その後、9月からは富士ゼロックスも参画するグローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク(GC-JN 現：一般社団法人グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク)の協力を得て、GC-JN加入企業への参加を呼びかけ、9月から11月までの約3カ月間で計9回、9社のべ284人ががれき撤去や写真洗浄などのボランティア活動を行いました。

2011年12月5日、これまでの活動を振り返り、今後の支援活動に役立てるためのワークショップが、富士ゼロックスの本社(東京・六本木)で開催され、活発な意見交換を行いました。第2期では、こうした話し合いの中から生まれた意見を反映しつつ、被災地のニーズに合わせて作業内容を変更します。これまではがれき撤去などが中心でしたが、今後は、企業の本業をさらに生かすべく、産業復興・漁業復興に関連する支援を行っていきます。第2期の詳細は次ページをご覧ください。

◆社員ボランティア派遣プログラム第2期活動の概要

1. 実施期間:2012年2月～3月(水曜出発、日曜帰着)
(①2月8～12日、②2月15～19日、③3月7～11日、④3月14～18日)
2. 規模・期間:1派遣あたり最大30名
3. 地域:宮城県気仙沼市大島
4. 活動内容:漁業の復旧・復興を目的に、牡蠣の養殖いかだや漁具の仕分作業、土嚢づくりなど

◆社員ボランティア派遣プログラムのこれまでの活動については、下記 Civic Force ホームページをご覧ください。

<http://www.civic-force.org/activity/activity-677.php>

<http://www.civic-force.org/activity/activity-681.php>

<http://www.civic-force.org/activity/activity-718.php>

企業や行政、NGOとの連携による大規模災害の支援活動を専門にする Civic Force は、このプログラムを通じて、複数企業からの社員ボランティアを組織化し、継続的に被災地に人を送るプログラムを構築してきました。第2期でも、企業との連携により資金だけではない被災地支援のあり方を模索し、人々のニーズに応える支援を続けていきます。

◆本件に関する問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force 担当:新海

TEL: 03-5213-4930 FAX: 03-5213-4929、Email: pr@civic-force.org

URL: <http://civic-force.org/>